

## 平成28年度協働事業等に係る第三者評価の実施結果について(詳細)

番号	区分	協働事業等名称	事業実施者	1 評価結論	2 事業について	3 協働の広がりの可能性	4 意見交換会を踏まえて	5 まとめ	
			(上段：市民、下段：市)	結果					
1	協 働 事 業	元気いっぱいサポート事業	元気いっぱいサポート	B	市民と市が密にコミュニケーションを取りながら課題や目的の共有ができる。相互に主体性を持ち、それぞれの強みを生かしながら事業を実施している。今後、課題として捉えている点の検討を進めることで、更なる発展が期待できる。	市民と市が一緒に模索しながら作り上げている事業で、市側が市民の意見を積極的に取り入れるなど、お互いの強みを生かしながら事業を実施している。	事業の進め方が計画的であるとともに、ノルディックウォークが介護につながるなど、事業としても広がりを見せていている。課題も共有できており、サポート一同の意見交換の場の検討など、今後の展開も考えられているので、更なる事業の発展が期待できる。	市民と市がそれぞれ主体性をもって事業を実施できている。また、事業の価値を捉え、積極的に取り組んでいる点が評価できる。	市民と市が密にコミュニケーションを取り、課題と目的を共有し、お互いの強みを生かしながら双方が主体的に事業を実施している。
			健康推進課	B					
2	協 働 事 業	ごみ減量・3R推進大会	府中市自治会連合会	D	府中市における状況や大会という事業の目的が当初と変わってきている中で、相互に目的や課題など情報共有をしながら事業の実施形態について検討を進めてほしい。併せて、従来の枠にとらわれず一般市民の参加や若い世代を巻き込み、全世代が参加しやすい内容とするなど、新たな方策を検討してほしい。また、反省会を開催するなど、目的や課題を共有できるような仕組み作りを協働で進めてほしい。	府中市における状況や大会という事業の目的が当初と変わってきている中で、コミュニケーションを密にしながら大会の在り方や実施方法の見直しを検討する必要がある。目的や課題を共有できるような仕組み作りを協働で進めてほしい。また、ごみ減量は地球環境保全の観点からも全世代で大切な事業であるため、これまで取り組まれてきた主体から一般市民の参加を広げてほしい。特にファミリー層や子どもなど若い世代を巻き込み、多数の市民が参加しやすいよう市内各所で実施するなど工夫をすることで、事業の活性化を図っていただき、より良い事業に発展させてほしい。	企画立案が市主導になっているため、市民の意見を取り入れることで、事業の発展を期待したい。特に、実行委員会形式で実施する等、目的や課題を共有し、よりコミュニケーションを図れるような仕組みの検討を進めてほしい。これまで取り組んできた主体に捉われず、例えば子ども会に主体的な参加を促し、ごみについて考える機会を提供するとともに、関係部署と連携するなど、より若い世代を巻き込んでいくことで協働の広がりが期待できる。	市が認識している課題を共有し、実施者や参加者の在り方を見直して進めていただきたい。お互いの強みを生かしながら相乗効果を発揮して目標を達成できるよう、実施方法を検討してほしい。	市民と市の情報共有が不足している。事業が転換期を迎えており、コミュニケーションを密にしながら課題や目的を共有し、より多くの市民を巻き込みながら事業を実施してほしい。
			ごみ減量推進課	D					
3	協 働 事 業	福祉まつり	府中市社会福祉協議会	B	目的や課題を共有し、対話を通じて十分なコミュニケーションを図り見直しを実施するとともに、情報共有を密にするなど、昨年よりも努力して協働のまちづくりに取り組んでいる。企業や中間支援組織等を活用することで、更なる事業の広がりも期待できるため、好事例としてより一層期待していきたい。	情報共有を行うことで、事業内容についてより良いものに改善するとともに、参加者間の情報共有の場を作るなど、日常関わらない人同士のつながりの場となるような取組を始めるなど、事業内容としても協働の視点からも評価できるものである。会場を府中公園のみだけではなく、企業を活用するなど様々な場所で実施することにより、更なる広がりが期待できる。	中間支援組織など協働のコーディネーターや企業を活用し、たとえば「障害者の就労支援」など、テーマを設定することで、参加者間の更なる協働の広がりも期待できる。	対話を通じ、双方課題を共有するとともに情報共有をしながら課題解決や更なる事業の発展に向けて取組を進めているため、協働の効果が期待できる。	参加団体のメンバーを実行委員としてすることで現場の意見を取り入れるとともに、情報共有の場を設定するなど、対話を通じてより良い事業となるよう取組を進めており、更に効果的な協働事業へと発展することが期待できる。
			地域福祉推進課	B					
4	協 働 事 業	姉妹都市佐久穂町森林間伐体験事業	東京武蔵府中ロータリークラブ	B	目的や課題の共有をはじめ、役割分担も明確であり、それぞれの特性も生かせている。信頼関係も構築できており、協働のあるべき姿となっている。今後、参加者が各学校等で報告会を行うなど、教育委員会とも連携することで、更なる環境の意識啓発につなげるなど、協働事業としても更なる発展が期待できる。	府中の子どもたちが自然環境を体験し、環境について考えることは将来にわたる見えない財産である。リピーターを活用するなど後継を育成している点が評価できる。	参加者が自由研究として当事業を取り上げたり、それぞれの学校で報告会を開催するなど、教育委員会と連携することで、協働の相乗効果が発揮され、更なる協働の広がりが期待できる。	協働の広がりに係る取組を市民と市が検討いただくことで、更に期待できる事業となる。	課題等共通の認識を持ち、市は黒子役に努め、市民のノウハウを生かしながら役割分担のもとで事業を実施している。
			環境政策課	B					

番号	区分	協働事業等名称	事業実施者	1 評価結論		2 事業について	3 協働の広がりの可能性	4 意見交換会を踏まえて	5 まとめ
			(上段：市民、下段：市)	結果	意見				
5	協働事業	ラグビーのまち府中推進事業	ラグビーのまち府中推進委員会	B	1つの目標に向かって、各団体が持っている専門性を理解・共有したうえで、様々な主体が協働している。事業としても、短期間でありながらも成果を上げている。一方、事業目標が4つあり、全体がまとまりきれていない印象を受ける。主となる目標を定めることで、より方向性が明確となり、中間支援組織等の協力や市民ボランティアの活用などにも生かされ、更なる市民意識の向上が期待できる。	事業目標が4つあるが、主となる目標を設定するより明確となる。また、スポーツを通じた地域活性化には大きな可能性を感じるとともに、府中はラグビートップチームが2チームもある恵まれた環境のため、2019・2020に向けて発展の可能性は大きい。	ワールドカップや、オリンピック・パラリンピックなど、目標は明確であり、協働したいと考えているところが多いと思われる。現在の枠に捉われず、市民参加や協働といった視点など、協働のパートナーを増やすことにより更なる可能性の広がりが期待できる。また、将来は自立（法人化）に向けての大きな目標を持っており、今後の活動が期待される。	事業目標が4つあり、ややまとまりに欠ける面があるが、1年という短期間でこれだけ展開できているのは非常に素晴らしいものである。今後、市民参加や、市内部への横断的な協働が期待される。	1つの目標に向かって、各団体が持っている専門性を理解・共有し、協働で取組を進めている。また、ワールドカップ、オリンピック・パラリンピックなど目標が明確で、協働に対する捉え方もしっかりと認識されている。現在の協働の枠に捉われず、中間支援組織や市民ボランティアの導入など、協働のパートナーを増やすことで、市民意識の向上や、更なる協働の広がりの可能性が期待できる。
			政策課						

区分	協働事業等名称	事業実施者	1 評価結論		2 事業について	3 協働の広がりの可能性	4 意見交換会を踏まえて	5 まとめ	
		(上段：市民、下段：市)	結果	意見					
6	市民提案型協働事業	平成28年度「参加・体験・感動！ふれあいこどもまつり」	府中子ども劇場	B	事業は芸術文化を身近に触れる機会としてとても良い。協働の視点ではお互いの専門性を尊重するあまり双方相手任せな点があったものの、課題の共有はできている。お互いの理解を深めることで更なる協働の広がりが期待できる。	子どもたちが芸術文化に触れる機会の提供として素晴らしい事業であるが、企業等の協賛や助成金を活用するなどし、チケットの価格を下げることで更に舞台芸術を身近に感じていただけるよう、引き続き取り組んでいただきたい。	地域のボランティアや自治会の協力を得ながら地域資源を活用するとともに、主管課だけではなく関係課とも連携を図ることで、更なる協働の広がりの可能性がある。また、行政との協働のみでなく、企業と協働することにより、運営への支援につながるなど、更なる発展が期待できる。	相互の専門性を尊重しており、目的や課題、改善点も共有されている点は評価できるが、相手を尊重するあまり双方相手任せな点が見受けられる。情報共有を密にすることで、更に特性を生かし、より効果的な事業となることが期待できる。	団体の想いに対して市側が受身に感じられたが、双方で課題の共有や反省等を理解している。お互いの役割をもっと理解することで、周知方法の改善や更なる協働の広がりが期待できる。
			文化生涯学習課						
7	府中農業応援隊	トランジションタウン府中	B	市と協働で実施することで、援農につなぐことができており、協働の成果が得られている。情報共有をより密に行うことで、協働の広がりや更なる事業の発展が期待できる。	冊子は好評であり、農家にとって心強い事業である。今後更に周知を図るとともに、販売店などの流通経路を掲載することで、農家の利益拡大や府中ブランドの創出につなげていただきたい。	より情報共有を図り、互いの特性を理解するとともに、事業の継続、周知の拡大により更なる協働の広がりの可能性がある。地域への周知、特に都立農業高校や東京農工大学とも協働することで、次世代の育成につながるとともに、援農者、応援者、協賛企業の拡大も期待できる。	双方課題も共有されており、今後に期待できる事業であると評価できる。	事業成果は素晴らしいものであり、団体の努力が良くみえ、評価できる事業である。双方情報共有に課題を感じているものの、その課題を共有できているため、今後に期待したい。また、より情報共有を行うことで、更なる広がりを見せ、協力者の増加や次世代の育成につなげていただきたい。	

#### ※ 評価結果の定義

- A : 協働事業として適切で優れていると評価できる。
- B : 協働事業として適切であるが、一部改善することで、更なる発展が期待できる。
- C : 協働事業として概ね適切であるが、一部改善の必要がある。
- D : 協働事業として取り組むにはかなりの改善が必要である。
- E : 協働事業としては不十分であった。